

塩尻志学館高等学校同窓会

桔梗会 会報

第 35 号
令和 7 年 1 月

発行人 塩尻志学館高校同窓会
編集長 赤羽 誠 治
題 字 木下 王 代
印刷所 南 ク マ ガ イ 印 刷



同窓会長就任にあたり

同窓会桔梗会 会長 赤羽 誠 治

塩尻志学館高校同窓会桔梗会員の皆様方には、日頃から母校発展と同窓会活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

私は、令和6年度同窓会桔梗会定期総会の役員改選におきまして、会長の大役に選任されました、赤羽誠治と申します。(昭和50年3月卒) 自身、昨年度1年間副会長を務めただけで経験も浅く不安もあります。桔梗会役員を始め会員の皆様方のご支援とご協力をいただきながら活動を進めて参りたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

さて、我が母校は総合学科に移行して24年目となります。明治44年4月の開校以来幾多の校名変更や学科改変など様々な沿革を経て現在に至り

113年の歴史を重ねてきておりますが近年、少子高齢化が予測を遥かに超える速さで進む中、大きな変革を迫られております。

それは、令和4年5月に長野県教育委員会から示された、母校と田川高校を再編統合して「塩尻総合学科新校(仮称)」を設置する案であります。県教委は新校開校を2030年(令和12年) 目途に掲げ、統合に向けた検討組織として

「新校再編実施計画懇話会」を設置し検討が始まっております。同窓会長もこの懇話会の構成員となり様々な検討をしてきておりますが、まだまだ新校設置に関する具体的な方向性は出ておりません。

これまで母校が地域と共に果たしてきた実績や歴史を踏まえ、生徒中心の統合を第一に地域未来の進展に期待できるものになるよう万全を期して参りたいと考えております。今後の状況等につきまして、会報や桔梗会ホームページ等を通してご報告をさせていただきます。

桔梗会は同窓生がそれぞれの時代背景の中で、努力と母校愛を積み重ね伝統を築きあげてきました。今後も桔梗会の更なる進展と母校発展のため執行部一丸となり取り組みで参りますので、重ねてご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、桔梗会々員各位の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

桔梗会一年の活動報告

令和5年	12月9日	正副会長会	令和6年	5月26日	定期総会
	12月16日	同窓会館大掃除		6月29日	正副会長会・支部長会
				7月29日	会報編集委員会(第1回)
令和6年	1月13日	会報編集委員会(第5回)		9月6日	会報編集委員会(第2回)
	1月27日	正副会長会		10月5日	正副会長会
	3月1日	卒業式		10月10日	役員会
	3月27日	正副会長会		10月26日	マレットゴルフ大会(山形支部)
	4月5日	入学式		12月12日	会報編集委員会(第3回)
	4月20日	正副会長会・会計監査		12月21日	会報編集委員会(第4回)
	4月27日	役員会			



統合前に何ができるか

学校長 堀内 雅 司

同窓会桔梗会会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に、物心両面でご支援をいただいております。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

私は今年度より校長を務めています。堀内雅司でございます。教諭として本校に1997、2005年度の9年間（塩尻高校3年志学館高校6年）勤務した経緯があるため、塩尻志学館高校を自分の母校のように感じています。

5月26日に行われた同窓会桔梗会総会に出席させていただきました。しかし、その際、会員の皆様からのご意見の数々に並々ならぬ母校愛を感じました。この桔梗会総会は、新任校長として襟を正す機会となりました。改めて本校発展のために精進していく思いを心に刻んだ次第です。

本校は、2000年に総合学科への学科改変に伴い、塩尻高校から塩尻志学館高校に校名が変わりました。ちょうどその当時、私は塩尻高校に勤務していたため、学科改変に係る校内の様子は、大変な状況であったことを、今となつては懐かしく思い出されます。あれから四半世紀が経とうとしています。

今回、県の再編実施計画による田川高校との統合で、数年後には

新しい高校が誕生しようとしています。25年前の学科改変時と同じ大激論、意見のぶつかり合いがあつてもおかしくはないのですが、既に統合が決定しているためか、

新校再編実施計画懇話会では、両校関係者をはじめ塩尻市や地元企業、有識者など地域の方々からは、建設的な意見が出されるなど、塩尻市に唯一の県立高校となる新校開校を盛り上げていこうとする姿が見られます。今後については、総合学科新校の学びのイメージをはじめ設置場所（校地）や校舎、校名、校章、校歌などについても検討を進めていくことになっていきます。桔梗会総会において「同窓会桔梗会としても新校開校に向け、田川高校同窓会との話し合いを進めていく」と赤羽誠治会長からもお話がありました。

ここまで築き上げた両校の伝統を生かした統合となるよう、県や地域、関係各位のお力添えをいただきながら、統合に向けて両校が主体的となり進めて参る所存ですので、今後も同窓会員の皆様からの忌憚のないご意見をいただければ幸甚でございます。

結びに会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。会報のご挨拶とさせていただきます。

山形支部だより

マレットゴルフ大会開催

山形支部 支部長 斉藤 信夫

第11回親睦マレットゴルフ大会が10月26日（土）山形村なろう原公園で開催されました。

昨年の大門支部に続き2年連続の開催となりました。心配された天気にも恵まれて楽しい半日（午後）でした。13時MG場にて受付・組み合わせ表・懇親会会場迄の地図が渡されました。13時20分開会式。赤羽会長の挨拶・山形支部のルール説明・記念撮影その後4組16名が同時スタートしました。コースは東向きの山の斜面でかなりおもしろいコースの18ホール。15時頃より終了するチームが有り休憩所で楽しいお話をしていました。ホールインワンはありませんでしたが、全員がゲームを堪能され、引き続きMG会場から3km弱離れた上竹田公会堂テーブル席で懇親会並びに表彰式を22名で行いました。

赤羽会長の挨拶・顧問の山形村村長の本庄さんの乾杯で約2時間楽しみ、表彰式で成績発表があり、

優勝者は65打原新田支部の田中さん、準優勝者は74打大門支部の白木さんでした。KI-KYOワインがそれぞれ2本と1本が進呈されました。これからも定期的にシニアのスポーツ、マレットゴルフを通じて親睦を楽しみにしていきたいと思っております。ありがとうございました。



参加者のみなさん

❖令和5年度決算／令和6年度予算❖

1. 総括一般会計

(単位円)

特別会計

	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	
収入総額	5,918,000	5,474,503	6,340,000	収入総額
支出総額	5,918,000	4,154,867	6,340,000	周年事業積立金 6,715,959
差引残高	0	1,319,636	0	会館管理維持積立金 650,004
				支出総額
				差引残高
				7,365,963

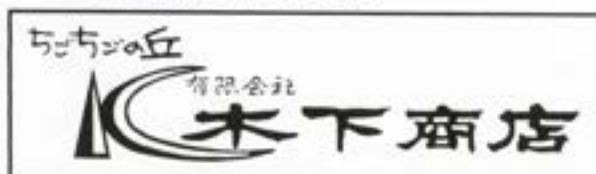
2. 収入の部

	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	適用
繰越金	982,853	982,853	1,319,636	前年度より
入会金(入学時)	995,000	995,000	1,015,000	5,000円×203名
入会金(2年時)	980,000	960,000	995,000	5,000円×199名
入会金(卒業時)	1,910,000	1,890,000	1,960,000	10,000円×196名
会費	1,000,000	586,645	1,000,000	年会費
雑収入	50,147	60,005	50,364	会報広告・利息等
小計	5,918,000	5,474,503	6,340,000	

3. 支出の部

	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	適用
總會費	150,000	36,216	200,000	總會・懇親会補助等
会議費	150,000	71,310	200,000	役員会・支部長会議補助等
旅費	200,000	22,140	200,000	支部総会出席等
通信費	250,000	131,003	250,000	送料、NTT利用料、振込手数料等
事務費	120,000	34,638	120,000	事務用品、消耗品等
人件費	600,000	422,950	600,000	事務職員手当
報酬	170,000	140,000	170,000	正副会長
慶弔費	50,000	43,049	50,000	教職員饗別、弔電等
HP運営費	50,000	26,400	50,000	ホームページ更新
使用料及び賃借料			200,000	パソコン及びコピー機リース料金
会報発行費	400,000	229,107	400,000	第35号会報、印刷費、送料等
支部助成費	200,000	49,377	200,000	支部総会祝金、還元金等
事業費	200,000	146,300	300,000	桔梗祭、マレットゴルフ大会、ワイン購入等
生徒助成費	1,500,000	906,234	1,500,000	大会出場激励金、ワイン研修等
教育活動支援金	150,000	161,865	200,000	教育活動の充実を図る支援
生徒記念品費	200,000	131,646	200,000	卒業記念品代
桔梗塾運営費	250,000	250,000	300,000	桔梗塾補助
会館管理費	20,000	52,632	50,000	正副会長事務局で会館清掃、用品代
会館維持積立金	100,000	300,000	100,000	特別会計積立
周年事業積立金	500,000	1,000,000	500,000	特別会計積立
予備費	658,000	0	550,000	
小計	5,918,000	4,154,867	6,340,000	

全酒類、青果、卸・小売
一般貨物運送事業



〒399-0702
長野県塩尻市広丘野村字桔梗ヶ原1785-134
TEL 0263-51-6660
FAX 0263-51-6601

そば処 知春

米久保 勇 (昭和55年3月卒)

〒399-0737

塩尻市大門8-1-3-2

TEL 0263-53-1209

FAX 0263-53-3883



在校生の大会参加状況及び結果

同窓会から
助成をしています

○北海道ワイン研修 8月25日(日)～8月30日(金)

○大会出場

- 弓道部** 6月 第54回北信越高等学校弓道大会(長野県)
団体2位、個人：小原銀之介4位
- 8月 第69回全国高等学校弓道大会(長崎県)
団体・個人で出場
- 11月 第14回北信越高等学校弓道新人大会
(新潟県)
女子団体、個人女子(今井一花)、
個人男子出場
- 12月 第43回全国高等学校弓道選抜大会
(三重県)
個人2名出場



全国高等学校弓道大会

- 空手道** 6月 第41回北信越高等学校空手道選手権大会(長野県)
丸山詩和・菊田琉稀：出場
- 8月 第51回全国高等学校空手道選手権大会(長崎県)
丸山詩和 出場



少林寺拳法大会

- 少林寺拳法** 6月 北信越高等学校体育大会少林寺拳法競技大会(長野県)
コピトスキー怜奈河上：優勝
- 7月 第51回全国高等学校少林寺拳法大会(佐賀県)
コピトスキー怜奈河上：出場

- 農業クラブ** 7月 第14回全国高校生そば打ち選手権大会
(そば打ち甲子園)(東京都)
全国4位

- 剣道部** 6月 第62回北信越高等学校剣道大会(長野県)

- 体操競技部** 6月 第59回北信越高等学校新体操・体操競技選手権大会
(石川県)
赤羽真緒：個人総合
- 7月 全国高等学校体育大会 体操競技大会(福岡県)
赤羽真緒：個人総合

- 書道部** 第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜県)

- 水泳** 7月 第57回北信越高等学校選手権水泳競技大会 兼
第92回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会(新潟県)
丸山紗弥 200m個人メドレー 200m平泳ぎ 出場



体操競技選手権大会

- 商業同好会** 7月 第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会(神奈川県)

令和5年度 第22期生 進路状況

令和6年4月1日現在

国公立大学 10名 (現役8名・既卒2名)

大 学	学 部	現役	既卒
信州大学	繊維	1	
公立諏訪東京理科大学	工	2	1
長野大学	社会福祉	1	
山梨大学	工		1
都留文科大学	文	1	
＊	教養	1	
静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営	1	
高知大学	人文	1	

私立大学 54名

大 学	学 部	現役	既卒
松本大学	総合経営	11	
＊	人間健康	5	
松本看護大学	看護	3	
佐久大学	人間福祉	1	
長野保健医療大学	保健科学	1	
神奈川大学	人間科学	1	
東京福祉大学	心理	1	
東洋大学	生命科学	1	
桜美林大学	ビジネスマネジメント	1	
＊	グローバルコミュニケーション	1	
明星大学	デザイン	1	
日本大学	生物資源科学	1	
帝京大学	医療技術	1	
大東文化大	国際関係	1	
東京未来大学	こども心理	1	
目白大学	社会	1	
関東学院大学	栄養	1	
神田外語大学	外国語	1	
東海大学	情報通信	1	
東京工芸大学	工・建築	2	
新潟医療福祉大学	医療技術	1	
金沢工業大学	工	1	
＊	情報フロンティア	1	
静岡理工科大学	情報	1	
愛知学院大学	総合政策	1	
愛知学泉大学	家政	1	
名古屋学芸大学	管理栄養	1	
名古屋外語大学	現代国際	1	
皇学館大学	文	1	
大谷大学	文	1	
京都外国語大学	外国語	2	
京都美術工芸大学	建築	1	
京都文教大学	臨床心理	2	
立命館大学	文	1	
関西外国語大学	外国語	1	

短期大学 17名

大 学	学 部	現役	既卒
松本大学松商短期大学部	経営情報	3	
＊	商	5	
松本短期大学	幼児保育	2	
信州豊南短期大学	言語コミュニケーション	1	
長野短期大学	幼児教育	1	
飯田短期大学	生活科学	2	
＊	幼児教育	2	
国際短期大学	国際コミュニケーション	1	

専門学校等 74名

長野県農業大学校1、長野県福祉大学校4、長野県工科短期大学校1、松本看護専門学校1、松本歯科大学衛生学院5、松本情報工科専門学校1、松本調理師製菓専門学校2、松本理容美容専門学校5、大原スポーツ公務員専門学校松本校3、大原簿記情報ビジネス医療専門学校松本校7、専門学校未来ビジネスカレッジ2、信州松本動物専門学校1、信州木曾看護専門学校2、信州リハビリテーション専門学校4、上田情報ビジネス専門学校1、エブソン情報科学専門学校2、長野救命医療専門学校1、Japanサッカーカレッジ1、国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校1、国際こども・福祉カレッジ1、国際医療専門学校1、ESPエンタテインメント東京1、香川調理製菓専門学校1、窪田理容美容専門学校1、東京アニメーションカレッジ1、東京ウェディング&ブライダル専門学校1、東京ウェディング・ホテル専門学校1、東京総合美容専門学校1、東京ベルエポック製菓調理専門学校1、日本工学院専門学校1、日本電子専門学校1、バンタンデザイン研究所1、文化服装学院1、町田デザイン&建築専門学校1、山野美容専門学校1、レコールバンタン東京校1、山野美容専門学校1、石川県理容美容専門学校1、国際ビジネス学院国際動物看護専門学校1、中部楽器技術専門学校1、東海工業専門学校金山校1、名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院1、名古屋ファッション専門学校1、日本聴能言語福祉学院1、代々木アニメーション学院1、大阪アミューズメントメディア専門学校1、新大阪歯科衛生士専門学校1、東洋きもの専門学校1

公務員 3名

自衛隊(一般曹候補生) 2
消防(木曾広域連合) 1

就職 民間企業 23名

キッセイ薬品工業株式会社1、キングラン・メディケア株式会社1、セイコーエプソ株式会社1、スギ・ミュージカル・インストゥルメンツ株式会社1、メルシャン株式会社1、ワタキューセイモア株式会社2、株式会社アルスター1、株式会社IHIキャスティングス1、株式会社アルプス1、株式会社ケアズリンク1、株式会社コスコ1、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ1、株式会社フレシード信州1、株式会社松本マツダオート1、社会福祉法人サン・ビジョン1、社会福祉法人平成会1、松本ハイランド農業協同組合1、長野森紙業株式会社塩尻事業所1、東邦薬品株式会社1、日本郵便株式会社信越支社3

そば打ち甲子園

全国4位!!

キャプテン 3年 竹下葉月



令和4年8月9日 本校の農業科農業クラブでは、そば打ち甲子園への出場を視野に入れながら、大体育館の北側にある約35アールの圃場で、そば栽培をスタートしました。栽培から出荷までの全ての工程（播種、刈り取り、乾燥、石抜き、袋詰め）に関しては、本校卒業生でもある永原農場の永原

光治さんよりご教授いただきました。本年度もそば打ちの練習は、令和6年4月27日から、広丘駅の北側に位置するNPO法人信州そばアカデミーの指導員の皆様の協力をいただき開始しました。メンバーは、3年生の竹下葉月、村山優色、二村一慶、2年生の北原拓実、白鳥結人の5名です。今年は2年目ということで、去年覚えたことを思い出しながらの練習から始まりました。そして、アカデミーの先生からの熱い指導を受け、より細かい技術を身につけることを目標に取り組んできました。また、今年からそば打ち甲子園のルールが変更されました。3人で1チームとなり、練り・延し・切りの3つの工程をそれぞれが担当します。40分で打ち切るのは旧ルールと同じですが、去年より一人一人のそば打ちの技術がさらに求められるものとなりました。

ルール変更で分からないことや、練習で思うようにいかないことも多くありましたが、チームで互いにアドバイスをし合い、意見を出し合い、より良いものにできるよう練習を重ねてきました。

大会は、令和6年7月24日に、東京都港区の東京都立産業貿易センターで実施されました。当日は、同窓会長をはじめ、東京都支部の卒業生の方にも来ていただき、改めて多くの方に応援され、支えていただいていることを強く感じました。本番は全員緊張していましたが、「今までの練習通りにやれば大丈夫」とチームで声を掛け合い、楽しむことを心がけました。全員で全力で取り組んだ40分間で、結果は、26の出場チームのうち、なんと4位でした。去年より順位も上がり、今までの練習が結果に繋がったことがとても嬉しかったです。

私達一同、「そば切り発祥の地」塩尻で、地域の文化に触れられたことをとても嬉しく思います。また、お力添えをいただいた同窓会の皆様をはじめ、信州そばアカデミーの皆様、ご協力いただいたすべての皆様に深く感謝いたします。



今後も地域の文化の継承をしていくよう、努めていきます。厳しい練習でも、緊張した大会当日でも、笑顔が見られるとても良いチームでした。皆で練習できたこと、大会に出場できたことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。



北海道 ワイン研修を 終えて

農業科 教諭 小池 晃

北海道のワイン醸造は、雪との闘いでありワイン用ブドウが重みで折れないように、倒して雪に埋める工程や、ワイン醸造の哲学と、持続可能な農業のための環境共生社会の実現に向けて努力されている醸造家の話を聞き、生徒たちは感銘を受けこれからのワイン醸造に対する新たな熱意を受け継いできました。今回参加した生徒の中から、地元のワイナリーに2名就職が決まりました。これらも同窓会の皆様よりご支援を頂き、生徒たちが特別な経験と学習ができたことが大きな糧となっておりますこと、深く感謝申し上げます。引き続き、地域を担う生徒へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本校のKIKYOワインは、醸造免許を取得してから今年で81年を迎えました。KIKYOワインの醸造学習は、本校の歴史であり塩尻市の観光及び産業を支える重要な教材です。この北海道ワイン研修を通して、醸造用ブドウ栽培とワイン醸造が地域振興の重要な役割を担った軌跡を学び、2010年以降爆発的に成長した北海道のワイン産業の現状と今後の展望について、目に焼き付けてきました。



モンガク谷ワイナリーにて



環境配慮型農業
(土づくり)



北海道仕立て
(大雪対応)

- ・ 期日および参加者 令和6年8月25日(日)～8月30日(金)の5泊6日 参加者6名
- ・ ワイナリー視察 余市町 「ドメヌ・タカヒコ」他5ワイナリー
- ・ 学校間交流 北海道余市紅志高等学校(総合学科)
- ・ その他 ソムリエ体験とノンアルコールワインとフランス料理のマリアージュ(ソムリエの仕事、テーブルマナー講習を含む)



ノンアルコールワインとフランス料理のマリアージュ



● SHOJUN

酒造・土木・設計・施工・管理一式
長野県知事許可 第17914号

株式会社 栗樹園

〒399-0703 長野県塩尻市大字広丘高出343-2
TEL 0263-54-1127 FAX 0263-54-1333
☎ 090-3143-5475
E-mail:shojuen@nifty.com



大信精肉

〒399-0706
塩尻市広丘原新田214
TEL 0263-52-1529

塩原正幸(昭和56年3月卒)

期待される同窓会にしませんか!!

日頃より、同窓会活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。おかげさまで、同窓会もどうやら無事に年を越すめどは立ちそうです。

しかし、長い歴史を持つ本校同窓会ではありますが、財源確保につきましては相変わらず苦慮する日々が続いております。

実状を暴露すれば、年度途中であっても、業者さんや事務局担当者への支払い(手当)を待っていたり、極端な場合、役員が立て替えるなどという事態もこの数年の間にあったことも事実なのです。

母校の支援とか同窓生の親睦を深めるとは言いますが、財源のほとんどは在校生のお金。むしろ支援されているのは同窓会の方ではないでしょうか。

現に、会員の皆さんから集まったお金は、会報の発行費と人件費だけでなくなってしまうのが実状です。

同窓会を会員の会費で運営しましょう!

会費納入状況	令和2年度	721,000円
	令和4年度	690,000円
	令和6年度	???円

年会費は2,000円/人です。

どう思われますか? 反響のあることを期待いたします。

期待される同窓会にしませんか!!

桔梗会顧問 三村俊英

正副会長

(令和6年度定期総会にて承認いただきました)

会長 赤羽 誠治(新任)
副会長 宮本 京子(再任)
副会長 横山 文明(新任)
副会長 竹川志津子(新任)

編集後記

皆さんを結ぶ架け橋

折角、苦勞して作った会報なので、多くの皆さんに読んでもらいたい。再編されようとしている母校で頑張っている今時の高校生や学校の様子を知ってもらい、自分たちの果敢だった頃を懐かしんでほしい。もっともっと色々な想いを伝えたいと思います!
皆さん!同窓会費の納入して下さるか?

編集委員一同

編集委員

委員長 野口 昌和(塩尻東支部)
委員 小松 嘉由(北熊井支部)
委員 小澤真由美(吉田支部)
委員 今井 明子(郷原支部)
学校 寺澤 顕孝

学校 三村 俊英

(職員同窓会顧問)

(同窓会担当職員)

特定建設業

 株式会社 米窪組

「社員の手育で建設業」建設事業
「設備関係の事業」建設事業

長野県塩尻市塩尻2-1-1

TEL 0263(52)0970
FAX 0263(54)1805

代表 小林秀行
Kobayashi Hideyuki
一級建築士
(昭和50年3月卒業)

K Architects LLC
一級建築士事務所 ケイアーキテクトツ合同会社
〒390-0811
長野県松本市中央4-5-35 錦物会館2F
tel/0263-33-1070・fax/0263-33-1065
携帯/090-2737-2652
mail/k-ba@orange.plala.or.jp
http://www.k-arch.biz